

令和元年度第2回徳島県周産期医療協議会 議事録

1 日 時

令和2年3月30日（月）午後7時から9時まで

2 場 所

徳島県立中央病院 3階 講堂

3 出席者

(1) 委員（14名）【五十音順・敬称略】

今川 玲代, 苛原 稔 (会長), 香美 祥二, 加地 剛, 柳澤 延昭 (代理出席)
斎藤 誠一郎, 佐藤 純子, 鈴江 真史, 田山 正伸, 長江 美紀, 春名 充,
福井 理仁, 船戸 豊子, 前川 正彦

(2) オブザーバー（1名）

中川 竜二

(3) 事務局等

健康づくり課, 医療政策課広域医療室, 各保健所等

4 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

①周産期医療協議会 母子保健専門部会報告について

②周産期医療協議会 妊産婦メンタルケア部会報告について

・「妊娠初期アンケート」等の活用状況に関するアンケート調査の概要について

・「徳島県妊産婦メンタルケア対策－早期発見と支援のポイント－」改訂（案）について

③周産期医療協議会 災害対策部会報告について

・令和元年度小児周産期リエゾン災害訓練実施報告

・徳島県周産期災害対策マニュアル改訂（案）について

④徳島県周産期医療搬送マニュアル改訂（案）について

⑤その他

5 議事の概要

(1) 周産期医療協議会 母子保健専門部会報告について

(加地部会長) 令和元年度周産期医療協議会母子保健専門部会報告【資料1】

(事務局) プレコンセプションケアの啓発について説明【資料2】

(会長) 乳児死亡については、以前は死亡率が高かったが、全国平均並みに改善してきたので、引き続き母子保健専門部会で検討していく必要がある。

(委員等) 死因究明は大切である。成育基本法が成立し、死因究明の体制整備が進むと期待される。

(会長) プレコンセプションケアは、特に、風しんの予防接種や葉酸摂取など、妊娠を希望する人や不妊治療希望者への周知が重要である。チラシを作成するということが、チラシは産科医療機関にも配布する予定か。

(事務局) プレコンセプションケアのチラシは、産科医療機関や市町村、保健所等関係機関へ配布を予定しています。

(会長) 是非、産科医療機関等にも配布して欲しい。

(2) 周産期医療協議会 妊産婦メンタルケア部会報告について

(春名部会長)

- ・「妊娠初期アンケート」等の活用状況に関するアンケート調査の概要について報告【資料3】
- ・「徳島県妊産婦メンタルケア対策－早期発見と支援のポイント－」改訂(案)について説明【資料4】

意見等なし

(3) 周産期医療協議会 災害対策部会報告について

(前川部会長)

- ・令和元年度小児周産期リエゾン災害訓練実施報告【資料5】
- ・徳島県周産期災害対策マニュアル改訂(案)について説明【資料6】

(会長) 訓練結果を踏まえてマニュアルを改訂するということが、災害時にマニュアルを見れるようにしていないといけない。マニュアルの周知はどうしているか。

(事務局) 産科医療機関に徳島県周産期災害対策マニュアルを送付するとともに、県ホームページに掲載している。

(会長) 災害で停電したときなどは県ホームページは見れるのか。徳島大学病院が作成している災害時周産期情報共有ホームページにも掲載しておいたほうがいい。

(4) 徳島県周産期医療搬送マニュアル改訂(案)について

(前川部会長) 徳島県周産期医療搬送マニュアル改訂(案)について説明【資料7】

意見等なし

(5) その他

- ・令和元年度HTLV-1研修会報告について

(事務局) 令和元年度HTLV-1研修会報告【資料8】

意見等なし

・「徳島県における乳幼児RSウイルス重症化予防対策」について

(中川医師) 「徳島県における乳幼児RSウイルス重症化予防対策」について【資料 9】
(委員) 「投与回数は最大 8 回まで」とあるが、投与回数や終了時期はあまり限定しない方がいいのではないか。回数については、最大とするのではなく、8 回を目安としてはどうか。

(会長) 今の意見を踏まえ、来年度は、「徳島県においては 7 月 1 日よりパリビズマブ投与を開始する」、「標準的な投与期間は翌年 2 月末までとする」、「標準的な投与回数は 8 回を目安とする」、「終了時期については流行状況に応じて柔軟性をもって対応する」とし、2021 年度以後については、徳島県周産期医療協議会や母子保健専門部会において投与時期が適切であったかどうか検討を行い、投与時期についての見直しが必要となった場合は、本会に議題として提起し承認を得、広く周知徹底を図るとしてはどうか。